

IoT等を活用した産業保安のスマート化に関する取組について（損害保険会社の視点から）

IoT（Internet of Things）の普及により、工場の各種機器等 あらゆるモノがネットワークに接続する（スマート化）時代が到来。
保険業界として、①スーパー認定事業所の普及支援 ②サイバー攻撃を始めとする新たなリスクへの対処 の観点から取組を進めている。

スーパー認定事業所制度への対応

- ✓ スーパー認定事業所制度の創設（2017年4月）

スーパー認定事業所の普及支援

- 東京海上日動リスクコンサルティング(株)が、同社が供するリスク評価業務やリスクコンサルティング業務に、スーパー認定事業所制度の評価項目である「事業所の保安管理システム」・「リスクアセスメント」を反映していくことで認定を支援。
- 上記を通じ、リスクに応じた適切な火災保険料で保険提供することにより、制度普及に貢献。

IoTのサイバーリスクへの対応

- ✓ サイバー攻撃により、OTシステム（Operational Technology:制御・計装系システム）に被害が及ぶ＝工場の生産ラインが停止に追い込まれる等のリスクについても想定が必要に。

サイバーリスク保険のIoT対応

- サイバーリスク保険においてOT機器（工場の制御機器・センサー等）を「ネットワークの定義」に加え、制御システム事故への対応について、2017年1月 約款改定を実施。
- サイバー攻撃を受けたOT機器の誤作動による工場プラント停止に起因する事故を補償の対象とすることを明確化。

今後の取組方向性

- ✓ サイバー攻撃による制御システム事故対応を通じた、工場プラントへのサイバーリスク保険普及促進。